

第1課 わたしたちの家においでください！

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状態に応じてAかBのどちらかを選んでください。

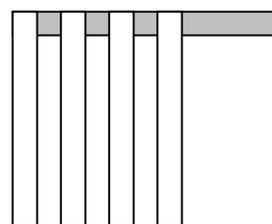
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A マットづくり【工作】 紙テープを編んでマット（15センチ角）をつくる

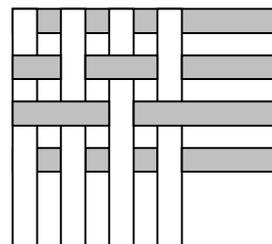
●材料

- ・ 様々な色の紙テープ：15cmに切ったものを20本くらい
- ・ のり

- ① 横にした1本の紙テープに、たて向きに紙テープをすきまをあけて等間隔に貼りつけます。



- ② 残りの紙テープを横向きに編むように差し込んで行き、端をのりでとめます。



目の粗さは適当でかまいません。

お手本にできるように、完成品を一つ置いておきましょう。

みんなの作ったものを合わせると大きなマットになります。

●話し合いをしましょう

- ・ 「このマットの上でよく眠れると思いますか。」
- ・ 「薄いマットで寝ると、お家のベッドで寝るのではどちらがいいですか。」
- ・ 「パウロは小アジアのあちこちを旅しました。マットの上で寝たこともたくさんあるでしょうね。誰かに家に泊まって行ってくださいと言われたときは、とてもうれしかったに違いありません。神さまは人々のもてなしの心によって、パウロを祝福されました。ローマ 12：13を探して読みましょう。」

B パウロとの旅行 聖書時代の衣装を着てパウロに扮し、子どもたちを迎える

- ① 部屋の四すみに都市名、解説を書いた紙を貼っておきます。(テントなどを使ってもよい。)
- ② ベレア、アテネ、コリント、エフェソの4つの都市の載った地図を一人ひとりに渡します。

都市名	解説
ベレア	ベレアの人たちは毎日聖書を読んで、パウロの言っていることが正しいかどうかを調べていました。神さまの言葉を勉強するのが大好きだったのです。
アテネ	アテネの町には偶像があふれていました。「私たちの知らない神さま」という神さままでつくって拝んでいたのです。新しいことについて話し合うことばかりしていて、ほとんどの人が、イエスさまの復活を冗談のネタにしていました。
コリント	コリントのユダヤ人たちはパウロに反抗して彼をののしったので、パウロは「私はこれからは異邦人のところに行きます」と言いました。けれども神さまは幻の中でパウロに「誰もあなたに危害を加えることはない」と約束してくれました。パウロはアキラとプロスキラというテントをつくる夫婦に出会い、一緒に仕事をしながら、この町で一年半、神さまのみ言葉を伝えました。
エフェソ	エフェソは、小アジアで一番重要な貿易の町でした。パウロはここを、イエスさまのことを伝える中心地にしました。パウロの話聞いて多くの人々が信者になり、大きなたき火をたいて、悪や魔術の本を燃やした人もたくさんいました。

- ③「小アジアへようこそ。どうぞよい旅を。わたし（パウロ）はイエスさまのことを伝えながらたくさんの場所を旅しました。わたしが行った都市を一緒にまわってみましょう。」
子どもたちを紙の貼ってあるところに連れていき、都市名と解説を読ませます。
1つの都市を訪れるたびに、地図のその場所にチェックをつけさせます。

●話し合いをしましょう

「旅は楽しかったですか。」

「コリントの町で、パウロは親切な夫婦に出会い、お家に呼んでもらいました。

ローマ 12:13 を探して読みましょう。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

私が入々を家に招くとき、私は神さまにお仕えしています

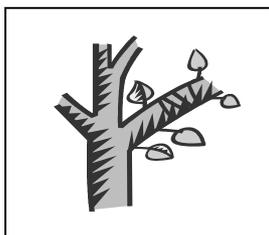
第2課 福音を伝える人

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 奉仕の木【工作】 注) この木は第4課でも使います



●材料

- ・ 大きな紙に葉っぱのついてない木の絵を描いておく（実物の木の枝でも良い）
- ・ 葉っぱの形に切り抜いた緑の紙（子どもに切り抜かせてもよい）
- ・ のり

- ① 葉っぱの形の紙に自分の名前と、教会や地域や家でできる奉仕（例：公園のゴミをひろう、料理を手伝うなど）を書かせます。
- ② 葉っぱを、木の枝に貼ります。
実物の枝を使った場合は、ヒモやテープなどで取り付けてください。

●話し合いをしましょう

- ・ 「自分にできる奉仕を考えるのは簡単でしたか、難しかったですか。」
- ・ 「周りの人のお手伝いをするとどんな気持ちになりますか。」
- ・ 「ヨハネ 20:21 を探して読みましょう。」
- ・ 「イエスさまは私たちが周りの人を助けるよう願っておられます。私たちはどのようにしたらよいのでしょうか。今日のメッセージに答えがあります。」

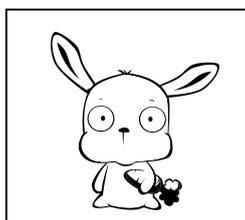
B スタンプづくり【工作】

「手紙や葉書を出すと、切手のところに消印というスタンプが押されます。それを見るとその手紙がいつどこで出されたかがわかります。今日はみんなで自分のスタンプをつくってみましょう。」

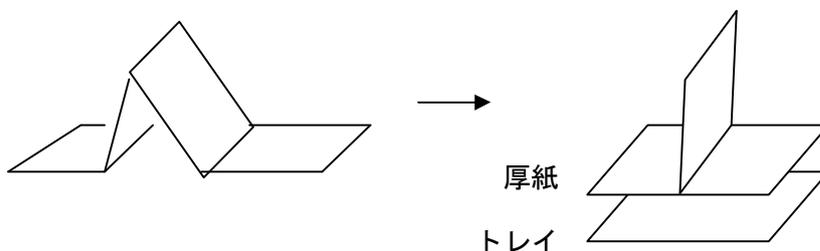
●材料

- ・ 厚みのある食品トレイ（平らな部分をつかいます）
- ・ 厚紙（牛乳パックなどでもよい）
- ・ 両面テープ
- ・ スタンプ台

トレイを切り抜き、絵を描く



厚紙を適当な大きさに切って折り、つまむところを作る



- ① 食品トレイをスタンプの大きさに切り取ります。
- ② ボールペンで強く絵を描きます。字の場合は裏に書いてください。
- ③ 厚紙で持つところを作り、両面テープなどで貼ります。
- ④ いろいろな色のスタンプ台があるときれいです。

●話し合いをしましょう

- ・ 「パウロはお友だちにたくさんの手紙を書きました。今は手紙を送るときは切手を貼って、郵便局の人がそこに消印を押します。パウロも手紙を書いたときに切手を貼ったと思いますか。」
- ・ 「実は、手紙はお手伝いの人が直接運んでいたのです。ヨハネ 20:21 を探して読みましょう。」
- ・ 「もしかしたら私たちも、いつか、特別なメッセージを運ぶように頼まれるかもしれませんね。神さまにどんなことを頼まれるにしても、いつもこのメッセージを覚えていきましょう。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

私がお人々を喜んで助けるとき、私は神さまにお仕えしています

第3課 にげ出した青年

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A チームワーク【ゲーム】

●準備（グループごとに）

- ・ ボタン付きの大きなシャツ
- ・ コップに入った水
- ・ キッチン用ミトン ・ 靴ひものついた靴
- ・ 帽子

あらかじめ、以下の動作を書いた紙を人数分用意しておきます。

（他に、誰かに手伝ってもらわなければならない動作を加えてもよい）

シャツを後ろ前に着て、ボタンをはめる

お尻の下に両手を置いて座り、水を飲む

ミトンをはめて、靴ひもを結ぶ

手を使わずに帽子をかぶる

こどもたちを、4人から8人のグループに分けます。子どもたちに紙に書いた動作をさせます。必要なときは誰かに手伝ってもらいます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「誰かに手伝ってもらわないといけないのは、どんな気分でしたか。」
- ・ 「お友だちを助けてあげるのは楽しかったですか。」
- ・ 「助けて、と言うのが難しいのはなぜですか。断られたら嫌だと思ったり、どうしたらいいのかわからなかったりするのでしょうか。」
- ・ 「私たちがまわりの人たちにしてあげられることはたくさんあります。私たちはまわりの人に仕えるとき、イエスさまに仕えているのです。エフェソ 6:7 を探して読みましょう。」
- ・ 「奉仕を始めるのにいい場所は、みんなのお家です。それが今日のメッセージです。」

B お席にご案内します

●準備

- ・ 教室の入り口にわたすロープ
- ・ 「お席にご案内します」と書いてある看板（画用紙）

あらかじめ、教室の入り口にロープをわたし、「お席にご案内します」という看板を貼っておきます。子どもたちが来たら、「安息日学校にようこそ。お席までご案内します」と挨拶して、子どもを1人ずつ席に案内します。

●話し合いをしましょう

- ・ 「席までのご案内サービスは楽しかったですか。今日のお話は、サービス、つまり、奉仕についてです。聖書には、主人のところから逃げ出してきた奴隷が、クリスチャンになって、元の家に戻って奉仕するというお話が書いてあります。エフェソ 6:7 を探して一緒に読みましょう。」
- ・ 「今日のメッセージには、どこで奉仕するかということも書いてあります。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

私は家でイエスさまにお仕えすることができます

第4課 上着を持ってきてください

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 感謝の木【工作】

●準備

- ・ 第2課で作った『奉仕の木』
 - ・ 果物の形に切り抜いた色紙（子どもに切り抜かせても良い）
 - ・ のり
 - ・ 「いつもありがとうございます」と書いた紙
- ① 子どもたちに果物の形の紙を渡し、思いつく教会員の名前と、その人が教会でどのような奉仕をしているかを書いてもらいます。
（例）ピアニスト、牧師、教師、執事、歌を歌う、挨拶をする、など。
 - ② 木の枝に貼ります。
実物の枝を使った場合は、ヒモやテープなどで取り付けてください。

教会員にも見えるところに飾りましょう。



●話し合いをしましょう

- ・ 「もしだれかが自分のために大きな『感謝の木』をつくってくれたら、どう思いますか。」
- ・ 「神さまの教会で奉仕している人たちに感謝の気持ちを表すには、このほかにどのような方法がありますか。」
- ・ 「どんなお手伝いができますか。」
- ・ 「暗唱聖句のヘブライ 6:10 を探して読みましょう。」

B 特別な手紙

●準備

- ・ 一人ひとりにあてた手紙
- ・ 郵便受け

「～ちゃん、……でいてくれて（してくれて）ありがとう。」という手紙を全員分用意しておきます。

（一人ひとりの子どもがあなたから最も聞きたいと思っている言葉を書けるよう、神さまにお祈りして助けていただきましょう。）

訪問客のために「今日は安息日学校に来てくれてありがとう」といったものも用意しておきます。

手紙は全部郵便受けに入れておきます。

子どもたちが来たら、郵便受けのところで自分あての封筒を見つけさせます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「お手紙を受け取るのは楽しいですか。」
- ・ 「誰からの手紙が一番うれしいですか。」
- ・ 「今日のお話では、自分たちの助けた人に手紙を送った人が出てきます。暗唱聖句のヘブライ 6:10 を探して読みましょう。この聖句は、私たちにも人助けをするようにとっています。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

神さまにお仕えしている人々を助けるとき、

私も神さまにお仕えしています

第5課 ゆるしの火

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 天使のひみつ



天使の形の紙を数枚、用意しておきます。その紙をたてに折り、外側に「天使のひみつ」と書きます。内側には以下のような文章を1枚に1つずつ書きます。

神さまはケルビムという天使をエデンの園の東側に配置して、命の木に続く道を警備させました。

神さまは、契約の箱の覆いの両端に天使の像を一体ずつ置くようモーセに命じられました。

神さまは天使たちに、イエスさまのお誕生を告げ知らせる役目を与えました。

神さまは天使たちに、イエスさまがまた戻ってこられることを知らせる役目を与えました。

いくつ天使をつくるかによって、「ひみつ」の数を増減してください。

子どもたちが来たら、内側に書いたひみつを読ませてください。

●話し合いをしましょう

- ・「『天使のひみつ』を読んで、今回新しく知ったことはありますか。」
- ・「天使は聖書のお話の中に何度も出てきます。今日のお話にも出てきます。どんなお話でしょうか。イザヤ 6:7 を探してください。」
- ・「同じことを別の言葉で言っているのが今日のメッセージです。」

オプション : 天使ではなく、「炭のひみつ」をしてもよいでしょう。

例)

- ・ 炭の錠剤は、消化不良やお腹のウイルスの薬として使われます。
- ・ 画家は、炭筆という、炭でできた短い棒で絵を描きます。
- ・ 炭は、外で料理をするときなどに、火をおこすのに使われます。
- ・ 炭の粉末は、蜂や蚊に刺されたときの治療に使われます。また、皮を染めたり、インクや塗料をつくるのに使われます。

B イエスさまは消してくださる

●準備

- ・ ホワイトボードか黒板
- ・ 「イエスさま」とはっきり見えるように書かれた黒板消し

イエスさまに許しを願わなくてはいけないことを、こどもたちに考えさせ、黒板に書きます。教師は、そういった罪の引き起こす痛みや問題について話してください。そして、もしイエスさまにお願いしたら、イエスさまはすぐに私たちの罪を消し去ってくださると説明しましょう。この説明をしながら、「イエスさま」と書かれた黒板消しを使って、黒板をきれいにします。

●話し合いをしましょう

- ・ 「イエスさまは黒板消しみたいだと思ったことはありますか。」
- ・ 「自分の罪を消し去ってもらえるとどんな気持ちになりますか。」
- ・ 「それが、今日のお話の中で、主人公が神さまの恵みに触れられたときに感じた気持ちです。暗唱聖句のイザヤ 6:7 を一緒に読みましょう。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

神さまの恵みによって私の罪はゆるされます

第6課 もどった時間

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 影を描く

太陽の光が差し込んでいれば部屋の中で、だめなら外で影をさがして紙に影を写し取らせます。

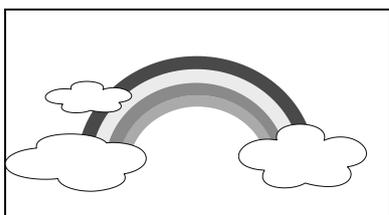
●話し合いをしましょう

- ・「影を写し取るのは楽しかったですか。」
- ・「影は時間がたっても変わらないと思いますか。」
- ・「時間がたつと影の位置が変わるのはなぜですか。」
- ・「今日のお話では、影と約束について勉強します。暗唱聖句のイザヤ38：7を探して読みましょう。」

B ハンドプリントの虹【工作】 第7課、第8課につづけて完成させる

●準備

- ・ 絵具 赤 ・ オレンジ (手のひらをつけやすいように皿などに入れておく)
- ・ 大きな模造紙に虹の形(7色に分かれた半円または弓型)を描いておく。



手に赤い絵具をつけ、一番外側の段に手形をつけさせます。
赤の段が埋まったら、次の段はオレンジの手形をつけます。
(虹の7色は、上から、赤、オレンジ、黄色、緑、青、藍、紫です。)

●話し合いをしましょう

- ・「虹が出てくる聖書のお話は何ですか。」
- ・「その虹は、それを見ていた人たちにとってどんな意味がありましたか。」
- ・「虹は、神さまがお約束を守られるという印です。創世記9:13を読みましょう。」
- ・「契約というのは、約束のことです。私たちは虹を見るたびに、神さまがいつもお約束を守られるということを思い出すのです。暗唱聖句のイザヤ38:7を探して読みましょう。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

私は、約束を守ってくださる神さまに、信頼することができます

第7課 ねん土のつぼ

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと讃美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 粘土あそび【工作】 粘土でいろいろなものをつくる

●準備

- ・ 粘土
- ・ パラフィン紙（テーブルをよごさないためのもの）

●話し合いをしましょう

- ・ 「粘土で物をつくるのは楽しいですか。」
- ・ 「柔らかい粘土と固い粘土、どちらが好きですか。それはなぜですか。」
- ・ 「今日の聖書のお話には、粘土でつぼをつくる人が出てきます。神さまがみんなを手の上に乗せて、神さまに似たものにするために形づくってくださる様子を想像してみましょう。」
- ・ 「暗唱聖句のイザヤ 64:8 を読みましょう。」

B ハンドプリントの虹【工作】 第6課でつくり始めた虹の絵のつづき

●準備

- ・ 絵具 黄色 ・ 緑

ハンドプリントの虹の続きをつくります（第6課参照）。

黄色、緑の絵具を使って、手形を押します。来週、青 ・ 藍色 ・ 紫の三色で完成です。

●話し合いをしましょう

- ・ 「虹をつくるのは楽しいですか。」
- ・ 「この虹を見ると、神さまのどんなお約束を思い出しますか。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょ

神さまは、み手の中で私を形づくってくださいます

第8課 力強い建築者たち

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A コップ運びリレー【ゲーム】

- ① 子どもたちを2つ(大人数のクラスならそれ以上)のチームに分け、たて2列に並ばせます。
- ② 1番目の人がコップをお盆にのせて、できるだけ早く部屋の反対側まで行って帰ってきます。
- ③ 次々とリレーしていきます。コップを落とした人は、スタート地点からやり直します。

●話し合いをしましょう

- ・「コップ運びは簡単でしたか。」
- ・「簡単そうに見えても難しいことがありますね。今日のお話に出てくるネヘミヤは、王様に飲み物を運ぶのが仕事でした。神さまは、ネヘミヤが難しいことをするのを手伝ってくださいました。暗唱聖句のネヘミヤ2:8を読みましょう。」
- ・「ネヘミヤが難しい仕事をするのができたのは、神さまのお恵みと力があつたからでした。」

B ハンドプリントの虹【工作】 第6課で作り始めた虹の絵を完成させる

●準備

- ・絵具 青 ・ 藍色 ・ 紫

●話し合いをしましょう

- ・「出来上がった虹をみてどう思いますか。」
- ・「今日は、神さまが、働く人たちの手に力を与えて、神さまのみ心を行うための働きをさせてくださったお話を聞きます。ネヘミヤ2:8を読みましょう。」
- ・「私たちのつくった虹を見て、神さまが今も約束を守られるということを思い出すことができます。今日のメッセージを覚えましょう。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

神さまは、私がみ心を行うことができるように、

恵みと力を与えてくださいます

第9課 神さまは約束を守られる

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 約束の絵【工作】

紙を4等分に区切り「神さまは約束を守られる！」というタイトルと、以下の3枚の絵を描きます。(見本となるような絵を見せると良いでしょう。)

- ① 赤ちゃんのイエスさま
- ② 十字架上のイエスさま
- ③ 再臨されるイエスさま



●話し合いをしましょう

- ・「この3枚の絵は、今日の教課で学ぶ聖書の預言に関係があります。預言とは何ですか。」
- ・「もしだれかの言ったことがその通りになったら、そしてそれが何度も続いたら、どう思いますか。」
- ・「神さまのおっしゃることを読んだり聞いたりするとき、どんなことがわかりますか。ヨシュア 23:14 を読んでみましょう。」

B 天気予報

新聞の天気予報欄(切り抜き)を見せて、最近の天気予報について話してもらいます。

●話し合いをしましょう

- ・「気象予報士たちは、何をしようとしていますか。」
- ・「天気予報はいつも当たりますか。神さまの預言はどうでしょうか。」
- ・「ヨシュア 23:14 を読みましょう。今日のお話には、実現した預言が出てきます。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

神さまは約束を守られます。

なぜなら聖書の預言は、必ずその通りになるからです

第10課 話せなくなった男

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 無言の男性

男性教会員のひとりに、元気に、ただし無言で子どもたちを出迎えてもらいましょう。ドアのところで子どもたちを迎え、席に案内したり、握手したりしてもらいます。

●話し合いをしましょう

- ・「～さん（男性の名前）が口をきかないのを見て、どう思いましたか。」
- ・「何か質問をしましたか。」
- ・「どうして口をきかなかったのだと思いますか。」

B 無言の賛美

「今日のお話は、しばらくのあいだ口をきけなくなったザカリヤについてです。わたしたちも無言で神さまをたたえてみましょう。どうすれば良いと思いますか。」

子どもたちが思いついた方法を試してみましょう。

例) 心の中で祈る / 賛美歌の歌詞を書く / 手話で賛美する / 詩や絵を描く

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

私が神さまのすばらしさと愛を人々に語る時、

私は神さまを礼拝しています

第 1 1 課 話したくて待ちきれない！

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A ひみつのジェスチャー【ゲーム】

- ① 子どもたちに気持ちを表す言葉（悲しい、うれしい、好き、怖い、ワクワクする、恥ずかしい、寂しいなど）を書いた紙を1枚ずつ配ります。
- ② ひとりずつ前に出て、ジェスチャーをし、ほかの子どもはその気持ちがどんなものかを当てます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「ひみつを守るのは難しいですか。簡単ですか。」
- ・ 「みんなのひみつを、他の人たちはどうやって当てましたか。」

B ひみつのもよう【工作】

●準備

- ・ ティッシュペーパー（または花紙）
- ・ きれいな色の水性サインペン（太くても細くても良い）

- ① ティッシュペーパーを4,5回、折りたたみ、サインペンを押し付けて、色をしみこませます。
- ② ティッシュペーパーを広げると、きれいなもようができています。
折り方を変えたり、色のつけ方を変えたりすると面白いですよ。
あまり長く押し付けすぎると、ひつついて広げにくくなるので注意。

●話し合いをしましょう

- ・ 「きれいなもようができておどろきましたか。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

私が神さまへの愛を人々に語る時、私は神さまを礼拝しています

第12課 あなたにも聞こえますか？

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A メッセージを運ぶ天使【工作】

●準備

- ・ 大きな紙に描いた天使の絵
- ・ 色鉛筆、マーカー、色紙、スタンプなど

天使の絵の中に、今日の暗唱聖句（ルカ 2:14）をかいておきます。

みんなで色を塗ったり、スタンプを押したり、讃美の言葉を書いたりして飾ります。

できあがったら壁に貼るか、ヒモをつけて天井からつるしましょう。

●話し合いをしましょう

- ・ 「この天使を見ると何を連想しますか。」
- ・ 「暗唱聖句のルカ 2:14 を読んで、天使たちがどんなメッセージを伝えたのか見てみましょう。」
- ・ 「神さまからメッセージを送られたら、それをきちんと聞くのが私たちの仕事です。」

B 聞こえますか？【ゲーム】

- ① 子どもたちに、神さま、天使、イエスさま、羊飼、星、馬小屋などと書いた紙を1枚ずつ配ります。
- ② いちにのさんで、自分の紙に書かれた言葉をみんなで同時にいいます。
- ③ ほかの人の言った言葉を聞き取って、自分の紙に書きます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「みんなの言った言葉がいくつ聞きとれましたか。」
- ・ 「神さまからメッセージを送られたら、それをきちんと聞くのが私たちの仕事です。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

私がイエスさまの福音に耳を傾けるととき、

私は神さまを礼拝しています

第13課 その喜びを伝えなさい

こどもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A イエスさまの誕生

●準備

- ・ イエスさまの誕生の場面を描いた絵本や置物など。

●話し合いをしましょう

- ・ 「馬小屋や牛小屋に入ったことはありますか。」
- ・ 「そこには何がありますか。そして、どんなにおいがして、どんな音が聞こえるでしょうか。」
- ・ 「馬小屋や牛小屋に行くのは好きですか。」
- ・ 「暗唱聖句のルカ 2:17 には、馬小屋で見たことをみんなに知らせまわった人たちが出てきます。」

B 伝えよう!【ゲーム】

- ① 子どもたちをたて1列に並ばせ、先頭の子を呼んで短い文章を教えます。
- ② 1番目の子どもは2番目の子どもに、ゆっくりと小さな声で1回だけその文章を伝えます。
- ③ 2番目の子どもは3番目の子どもに・・・と順に伝えていきます。
- ④ 最後の子どもに大きな声で言ってもらいます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「メッセージはうまく伝わりましたか。」
- ・ 「今日のメッセージは、イエスさまの誕生が自分にとってどんな意味があるのかを、喜んで周りの人に伝えるという内容です。あなたにとってはどんな意味がありますか。」

AまたはBが終わったらメッセージを一緒に言いましょう

私がイエスさまのことを喜んで人々に語るとき、

私は神さまを礼拝しています